

教育グループ

**茨城県行方市
理科実験について**

2023年12月8日(金)

保坂 洋

何故行方市なのか？



2016年DF15周年記念「モンゴルツアー」

ウランバートル日本大使館



ウルジさん

モンゴル国商工会議所・日本 会頭

2016年

2023年

DF20周年「感謝の会」

NAMEGATA CITY, IBARAKI PREFECTURE 2022.10.19

ウルジ・ウランバヤル
地域開発プロジェクト統括マネージャー

ULAMBAYAR ULZII
Regional Development Project Manager

〒311-3892 茨城県行方市麻生1561-9

Tel: +81-299-72-0811 Fax: +81-299-72-1537

Mobile: +81-90-6546-6261

E-mail: ulzii@r6.dion.ne.jp

URL: <https://www.city.namegata.ibaraki.jp/>

2023年4月26日（水） 15:00

行方市関係者がDFオフィスに来訪

（ウルジさん、他2名）

協業を模索することに合意



2023年6月24日（土） 11:00～18:00

行方市を訪問

企画部事業推進課長補佐山中氏、荒井係長、ウルジさん

段谷、高橋、岡田、大村、保坂

あなたの街で理科好きの子どもたちを
育ててみませんか？



一般社団法人ディレクトフォース
理科実験グループ

- ・私たちDF理科実験グループは、首都圏を中心に小中学生を対象に「**理科実験の出前授業**」のボランティア活動を行っている団体です。
- ・このたびこの活動を首都圏以外の地域にも拡げていきたいという想いから、趣旨にご賛同くださる地域の方々にお声がけしております。
- ・一緒にあなたの街に「理科実験グループ」を作りませんか。

2009年から14年の実績にもとづくノウハウを提供いたします。

開催学校等数	授業等回数	参加児童数
1,369校	2,819回	69,855名

(2023年4月現在)

こんなところに出前授業しています

- ・学校の理科授業の一環として
- ・放課後クラブ、夏休みクラブなどの授業外活動として
- ・PTA主催のイベントとして
- ・公民館・児童館などで実施するイベントとして



子供たちの“感動・喜び・なぜ”が、私たちの「宝物」です

■ 私たちが支援・提供できること

- ・理科実験内容の選定に関するご相談
(当グループには25種類のメニューがあります) ※下記参照ください
- ・実験に必要な機材および材料に関するご相談
(使用する機材や材料は当グループが独自に開発したものです)
- ・実験実施人材の養成に関するご相談(講師実演講座など)
※一授業につき、メイン講師(大先生)、4~5名の補助講師(小先生)で構成されます。
※当グループ独自開発の「実験手順書」に沿って授業をすすめます。
- ・企画、運営のノウハウ(学校など主催団体との連携など)
※当グループでは「イベントリーダー制度」がございます。

地域の事情に合わせた企画をご一緒に考えてまいります

【体験型理科実験：25種のメニュー】 (2023年4月現在)



※対象児童生徒の学年、人数および開催場所の条件などにより実施できるメニューを選びます。

〒105-0004 東京都港区新橋1丁目16番4 りそな新橋ビル7F

E-mail : rikadf@directforce.org

https://www.directforce.org

Phone : 03-6693-8020

**一緒に、あなたの街に
「理科実験グループ」
をつくりませんか。**

ナメテレが、録画をオンデマンドで視聴できるところが長所

理科実験の意義を伝え

やって見せ

楽しく、地域活性化に効果的

実感してもらい

自主的活動に進む背中を押す

2回目の行方市訪問 12月22日（金）

**戸田本部長等と訪問、なめテレストアジオ見
学、教育委員会と打合せを予定**

以上

福島みらいプロジェクト DF推進案v1.0

11/20/2023

一般社団法人 ディレクトフォース

福島みらいプロジェクト

- みらいワークス社が福島県より委託を受けて“福島みらいプロジェクト”を推進
 - 福島の活性化のために作ったプログラムで、一週間程度福島にてリモートワークして頂き(宿泊、交通費は無償) 1日程度福島の活性化のためのプログラムに協力頂くものです。参加する企業をみらいワークスが募っており、DFに参加依頼
 - 参加の枠組み
 - プログラムへの参加は、福島での地域交流、意見交換が目的
 - ツアー中に、具体的な事業推進の提案（営業行為）はNG
 - ツアー終了後、改めて提案し、具体的に進めていくことは問題ない

DFの参加案

■ DF参加の位置付け

- DFが検討を進めている地域デザインプロジェクトのパイロットとして、地方の活性化の為にニーズとDFの支援がマッチするのかが、ビジネスチャンスがあるのかの確認

■ DFの参加の目的

- DF会員の持つスペシャリティが地方の中小企業、団体等の成長、活性化のための課題解決の支援が可能かの確認
- 今後このサービスを有償化したスポットコンサルティングとしてビジネス化出来るかの検証

■ 参加案の具体的内容

- 福島みらいプロジェクトに参加希望のDF会員を募り、参加DF会員の持つスペシャリティで支援可能内容に対して、支援を希望する福島の中小企業、団体のマッチングを掛け、成立したケースを中心に、支援を実施
- 支援の方法は参加DF会員の希望に沿い、現地での実施か、オンライン会議での実施を想定
 - オンライン会議での実施で問題ないかの福島県側の確認が必要
 - DF会員が現地に滞在できるかの確認が必要

DF会員の参加募集に関して

■ 募集方法に関して

- 現在収集中のDF会員の持つスペシャリティに回答したメンバーに打診
 - 現在19名のDF会員が情報提供
 - 各会員のスペシャリティ情報は別紙参照
- 配配メールにてDF会員に募集メール配信

■ 福島の中小企業、団体の支援希望内容とのマッチング

- 参加希望DF会員の支援可能内容とマッチングを福島県側に依頼
- マッチング可能の場合現地での具体的な支援のスケジュール調整

今後の展開に関して

- 今回の支援は地方の中小企業、団体の支援希望ニーズとDF支援可能内容にマッチングの検証の位置付けとして実施
- 今後の展開としては、もし、継続的な支援が必要な場合、有償化が可能かの確認
 - ▶ 受け皿としてスポットコンサルティングサービスの適用の検討